



# 運営協議会だより No. 8

平成 27 年 1 月 23 日

代表：津吹一晴

校長：赤沼保江

## 学校関係者評価について

牛込一中では年に 2 回学校関係者評価を実施し、改善のスピードアップを図っております。保護者、生徒、教職員のみならず、準地域協働学校協議会委員も学校評価の一端を担っております。現在、協議会委員の第 2 回目のアンケートを回収している最中ですが、第 1 回のアンケートでの評価を抜粋してご紹介いたします。



### ○確かな学力の育成

I C T 活用や発問の工夫など、先生方が生徒に分かる授業を展開し、思考力、判断力を身につけさせ、「気づき」により自信を持っている表現（コミュニケーション）ができる生徒を育ててほしい。

### ○豊かな心の育成

運動会における生徒の自主活動ぶりはすばらしい。挨拶に関してはもっとよくなると思うので 2 学期以降に期待。

### ○体力の向上

体育の授業や部活動では生徒はよく体を動かし、楽しく運動を行っている。

### ○特色ある教育

特色ある教育は「ねらい（教職員）」と「目標（生徒）」を明確に示し、共有することで目的が達成できると考える。

### ○連携強化を目指す

地域の人材活用の教育や生徒の地域行事への参加は保護者地域の方々が先生、生徒の姿を見てもらうことで、安心と信頼を得る基となっている。

また、保護者、生徒からのアンケートの集計結果をみて、「地域の人と一緒にやる活動が増えているか」という設問に対しては「あまり当てはまらない」等の負の回答が多かったことに対して、お餅つきや校内ハローワーク等地域が関わっている行事が沢山あるのに、地域の人とやっていると認識されていない、見方が変わればもっと評価も変わってくるのではないかとの意見がでました。その一方、今後の協議会の課題であることも確認いたしました。

## 次年度「地域協働学校」の組織づくりについて

平成 27 年度はいよいよ「地域協働学校」として、本格的に活動が始まります。その組織づくりについての検討がなされました。今までやってきたことを継続して、広げるのではなく深めていき、その時その時でアイデアがあれば取り入れて活動していくのがいいという意見が主流でした。次回の協議会でも検討してまいります。

## 1 月・2 月の協議会参加予定学校行事

- 校内ハローワーク 1/16（金） 19 種の職業の方を講師としてお招きして全学年が参加します。
- 総合学習発表会 2/14（土） 1 年生、2 年生が中心で各ジャンルの代表がネオタイムで研究した成果を発表します。